

表面実装 I Cのハンダ付け (クリームハンダを使用した例)

●用意するもの

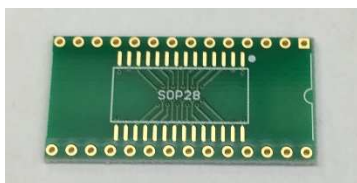
・クリームハンダ



・細いマイナスドライバーや爪楊枝など



・基板



・デバイス



もちろんハンダごてやコテ台は用意してくださいね。

●マイナスドライバーや爪楊枝にクリームハンダを付け、デバイスのピンに塗ります (ピンが曲がらないように)



●基板の上に、パターンとピンを揃えて載せ、動かないように押さえてそっとハンダごてを当てます。



●片側がハンダ付けできたら反対側もハンダ付けします。対角のピンをハンダ付けしてからの方がやり易い場合もあります。



●最後にルーペなどで、ハンダかすやハンダボールが無いか、確実に付いているかを確認してください。溶け残ったハンダやハンダかす、ハンダボールが残っていると不要な接触の原因となります。

(ハンダかすの除去には、歯ブラシに市販のフラックス除去剤などを付けて軽くこするのでも良い方法です)